

知事コメント

令和4年7月14日(木)

沖縄県では、7月11日にコロナ感染拡大警報を発出し、県民の皆さまに対して、感染防止対策を徹底するよう呼びかけているところですが、今週火曜日、水曜日、本日で3日連続で過去最多となる3,000名以上の新規陽性者数が確認されるなど、感染拡大が続いています。

年齢階級別では、10代や10歳未満の子どもたちにおける感染割合が約4割を占めていますが、30代、40代や高齢者層など、全ての年代において感染が広がっています。

B A. 5への置き換わりが進んでいること、3回目ワクチン接種の効果が弱まっていること、また、県民の活動が活発化していることから、市中で感染が拡大していると考えられ、現在の感染状況においては、日常生活における気の緩みが、感染リスクを高めることを重々認識する必要があります。

そのため、日頃から1人1人が、これまで身につけた感染対策を徹底することが重要です。コロナにうつらない、うつさない意識を心がけて下さい。

感染拡大とともに、入院者数もさらに増加しています。病床使用率は、7月14日時点で県全体60.6%、本島圏域63.9%、八重山圏域95.5%となっており、八重山圏域の病床使用率が非常に高い状況です。

県全体における病床使用率も、入院調整に困難が生じる水準とされる60%を超えているほか、医療機関における休業者が増加しており、コロナ用病床の継続が厳しさを増しているとともに、長期にわたるコロナ対策のため、医療従事者の多くが疲弊しています。

また、県では、救急の適正利用を呼びかけているところですが、依然として、検査のみを希望される方や、軽症の方の受診が後を絶たず、救急外来が大変厳しい状況となっています。

このままでは、一般診療への影響に加えて、現在の救急医療提供体制を維持できない状態となり、入院が必要な患者を受け入れることが困難となる可能性が高くなることから、県民の皆さまへ、さらなる対策の強化をお願いすることを検討しなければなりません。

今一度、自らの行動や活動を振り返り、マスクの着用・換気の徹底、体調不良時の外出自粛及びワクチン接種等の基本的な感染対策の徹底に取り組むようお願いいたします。また、既に3・4回目のワクチン接種を済ませた方は、周りの方への接種呼びかけをお願いいたします。

なお、さらなるワクチン接種の促進のため、7月28日（木）と29日（金）の2日間、県庁1階県民ホールに臨時接種会場を設け、モデルナ社製ワクチンを使用し、3・4回目接種を行います。

また、県広域接種センター那覇クルーズターミナル会場においては、7月15日から毎週金曜日、副反応が少ないと言われている、武田社製ワクチン（ノババックス）を使用し、接種を実施いたします。詳細は沖縄県ホームページをご確認下さい。